

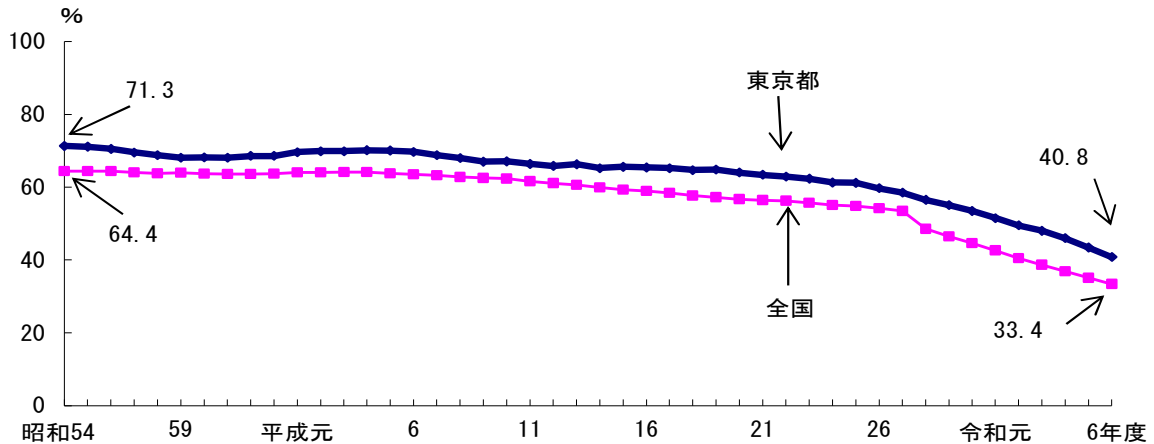
東京都と全国との比較

1 幼稚園

- ① 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合について、昭和54年度からの推移をみると、東京都の割合はすべての年度で全国を上回っている。
- ② 令和6年度の東京都の割合は40.8%で、全国との差は7.4ポイントとなった。

(全国との比較 図1、付表2-3)

全国との比較 図1 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合の比較



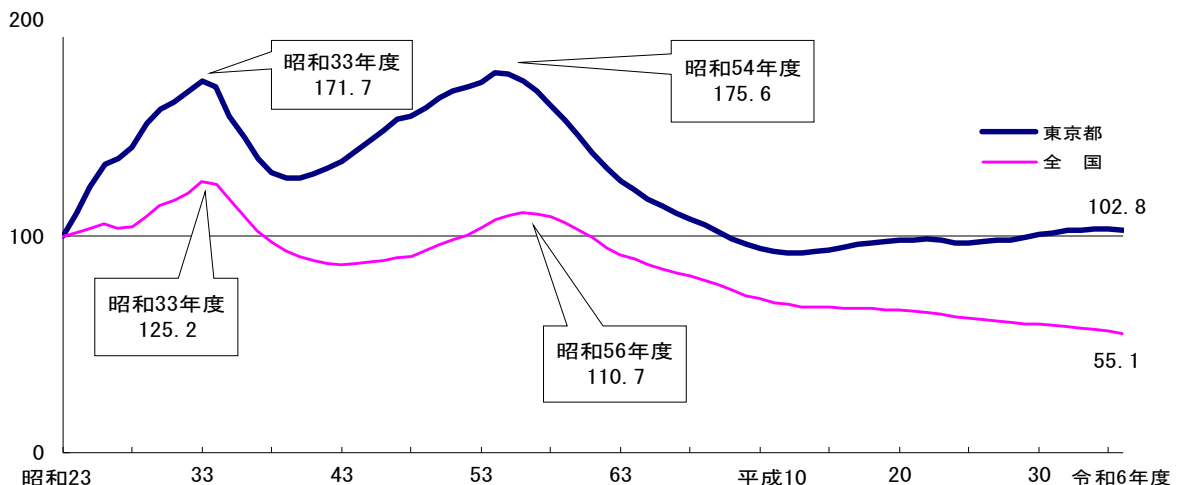
注1) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校及び義務教育学校第1学年児童数は各年5月1日在籍者
2) 平成27年度以前は、小学校第1学年児童数のみ

2 小学校

- ① 小学校児童数について昭和23年度を100とした指数でみると、第1次ベビーブームによる小学校児童数の東京都のピークは、全国と同じ昭和33年度で171.7となっており、全国の125.2を46.5ポイント上回っていた。
- ② 第2次ベビーブームによる小学校児童数のピークをみると、東京都は昭和54年度で175.6となっており、全国より2年早くピークを迎えている。
- ③ 令和6年度の東京都の指数は、102.8で、全国との差は47.7ポイントとなった。

(全国との比較 図2、付表2-4)

全国との比較 図2 小学校児童数の比較 (昭和23年度 = 指数100)

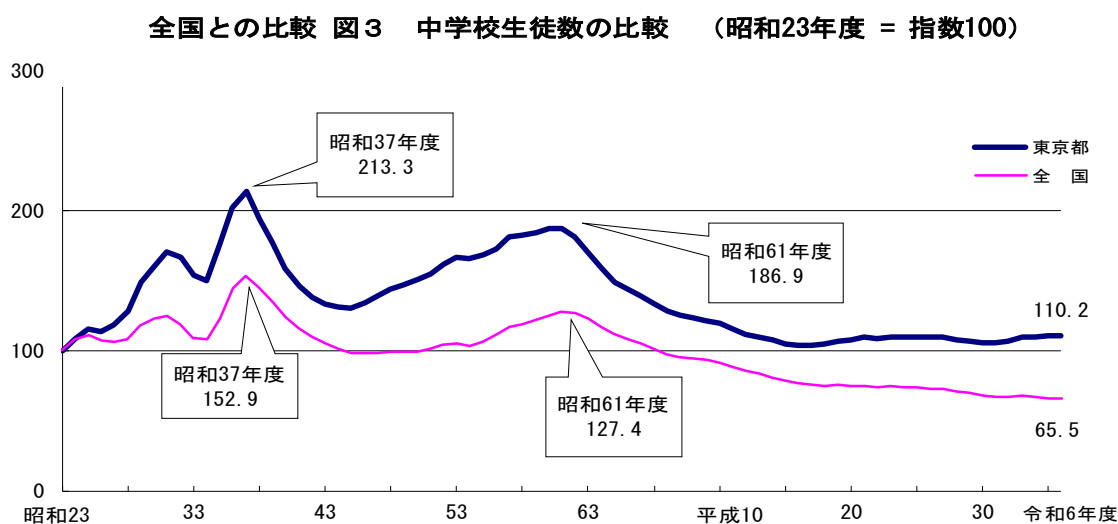


注) 昭和23年度の児童数を100として各年度の児童数を指数化している。

3 中学校

- ① 中学校生徒数について昭和 23 年度を 100 とした指数でみると、第 1 次ベビーブームによる中学校生徒数の東京都のピークは、全国と同じ昭和 37 年度で 213.3 となっており、全国の 152.9 を 60.4 ポイント上回っていた。
- ② 第 2 次ベビーブームによる中学校生徒数のピークをみると、東京都は全国と同じ昭和 61 年度で 186.9 となっており、第 1 次ベビーブームによる中学校生徒数のピークと比べ 26.4 ポイント下回っていた。
- ③ 令和 6 年度の東京都の指数は、110.2 で、全国との差は 44.7 ポイントとなった。

全国との比較 図 3、付表 2-4)



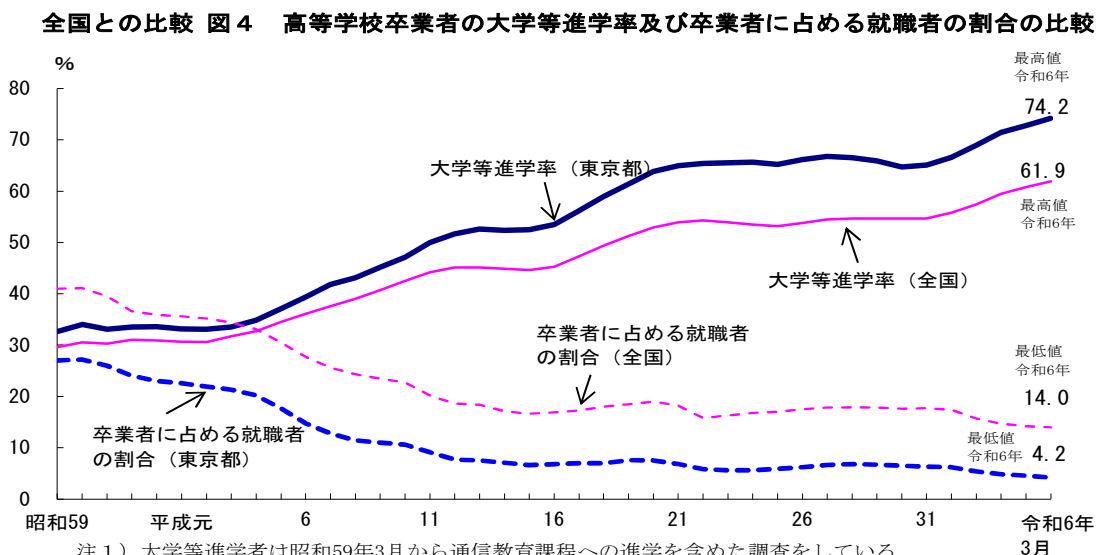
注) 昭和23年度の生徒数を100として各年度の生徒数を指数化している。

4 高等学校 (全日制・定時制)

(1) 卒業生の大学等進学率・卒業者に占める就職者の割合の推移

- ① 高等学校 (全日制・定時制) 卒業生の大学等進学率をみると、東京都は平成 27 年 3 月以降低下していたが、平成 31 年 3 月から上昇に転じ、令和 6 年 3 月は 74.2% で最も高くなった。全国も令和 6 年 3 月の 61.9% が最も高くなっている。令和 6 年 3 月の東京都の大学等進学率は全国を 12.3 ポイント上回った。
- ② 卒業者に占める就職者の割合をみると、東京都、全国ともに令和 6 年 3 月が最も低く、東京都は 4.2%、全国は 14.0% となった。令和 6 年 3 月の東京都の就職者の割合は全国を 9.8 ポイント下回った。

(全国との比較 図 4、付表 2-2、2-7)



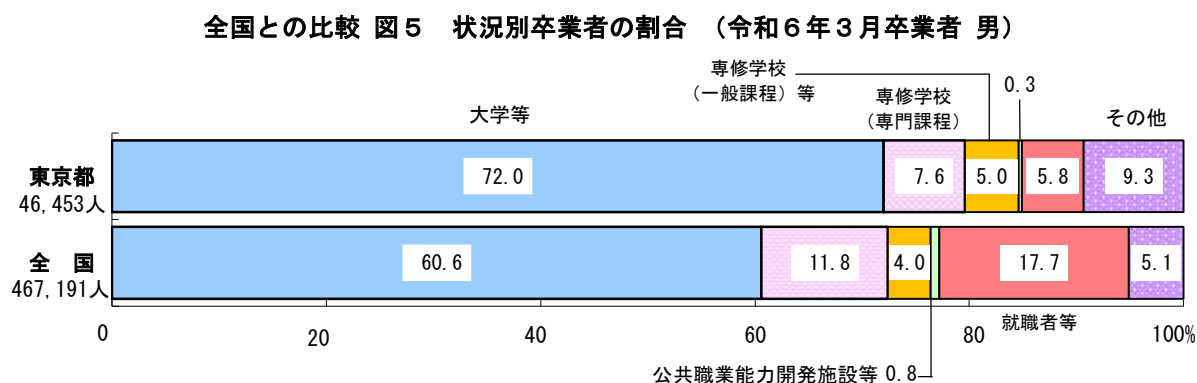
注 1) 大学等進学者は昭和59年3月から通信教育課程への進学を含めた調査をしている。
 2) 卒業者には、調査年度の前年度の 3 月及び年度途中に卒業を認められた者も含む。

（２）男女別にみた状況別卒業者の割合

① 高等学校（全日制・定時制）卒業者について、男子の状況別卒業者の割合をみると、東京都では、大学等進学者が72.0%で最も多く、全国を11.4ポイント上回っている。次いで、その他9.3%、専修学校（専門課程）進学者7.6%、就職者等5.8%、専修学校（一般課程）等入学者5.0%となっている。

一方全国は、大学等進学者60.6%に次いで就職者等が17.7%で多く、東京都を11.9ポイント上回っている。次いで専修学校（専門課程）進学者11.8%、その他5.1%、専修学校（一般課程）等入学者4.0%となっている。

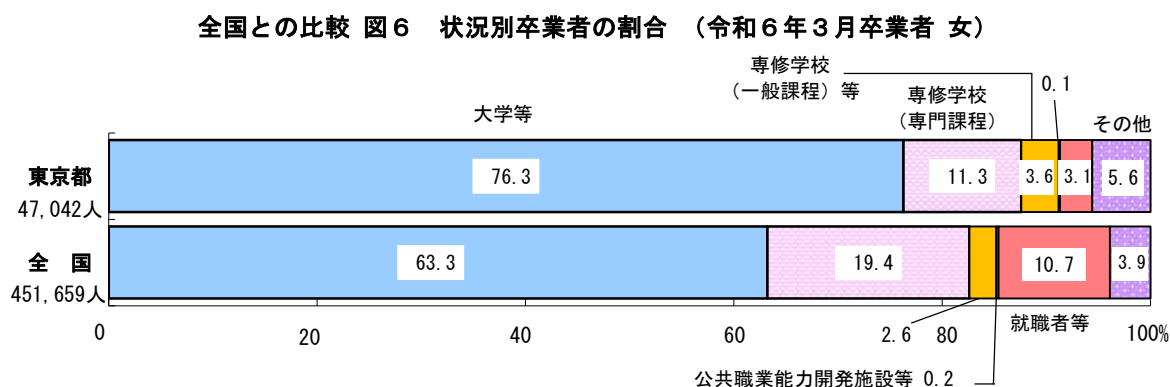
（全国との比較 図5）



② 高等学校（全日制・定時制）卒業者について、女子の状況別卒業者の割合をみると、東京都では、大学等進学者が76.3%で最も多く、全国を13.0ポイント上回っている。次いで、専修学校（専門課程）進学者11.3%、その他5.6%、専修学校（一般課程）等入学者3.6%、就職者等3.1%となっている。

一方全国は、大学等進学者63.3%に次いで専修学校（専門課程）進学者が19.4%、就職者等10.7%、その他3.9%、専修学校（一般課程）等入学者2.6%となっている。

（全国との比較 図6）



注1) 「大学等進学者」には大学・短大の別科、高等学校専攻科、特別支援学校高等部専攻科への進学者を含む。

注2) 「専修学校（一般課程）等入学者」とは、専修学校（一般課程）及び各種学校へ入学した者である。

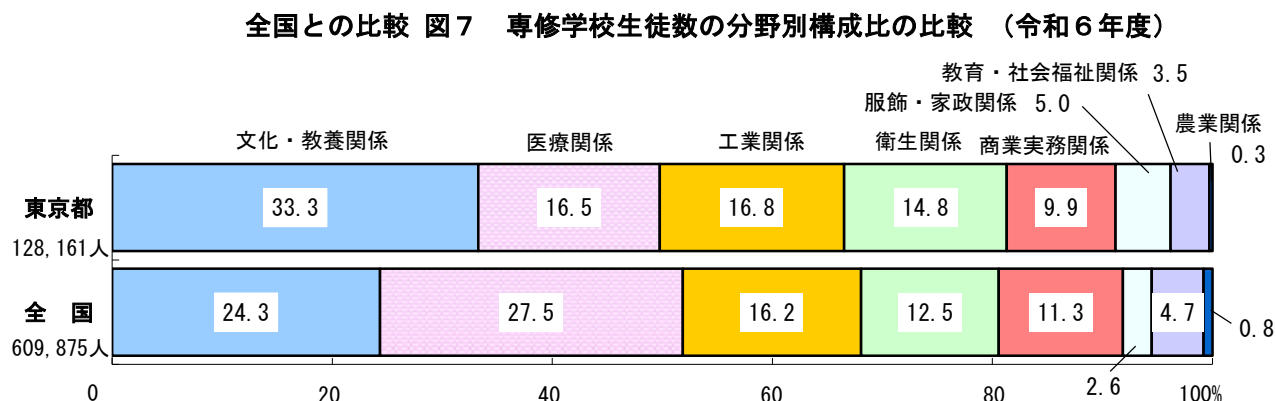
注3) 「就職者等」には、常用労働者のうち有期雇用労働者及び臨時労働者を含み、進学しながら就職している者を含まない。

注4) 「その他」とは、家事手伝い、外国の大学等に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者と不詳・死亡の合計である。

5 専修学校

- ① 令和6年度の東京都の専修学校生徒数は128,161人で、全国の生徒数609,875人の21.0%を占めている。
- ② 専修学校生徒数を分野別の構成比でみると、東京都は「文化・教養関係」が33.3%で最も多く、全国の24.3%を9.0ポイント上回った。一方、「医療関係」は16.5%で、全国の27.5%を11.0ポイント下回っている。

(全国との比較 図7、付表2-6)



6 各種学校

- ① 令和6年度の東京都の各種学校生徒数は25,077人で、全国の生徒数107,247人の23.4%を占めている。
- ② 各種学校生徒数を分野別の構成比でみると、東京都は「その他(外国人学校)」が59.9%、「文化・教養関係」が34.8%となっており、この2つの分野で全体の9割を超えている。全国は「その他(自動車操縦)」が30.0%で最も多く、「その他(外国人学校)」が29.9%、「文化・教養関係」が18.5%、「その他(予備校)」が11.2%の順となっている。

(全国との比較 図8、付表2-6)

